

第 23 回日韓国際シンポジウムの日程および報告者募集のお知らせ

以下のとおり、第 23 回日韓国際シンポジウムを開催いたします。会員の皆様の参加を期待します。なお、報告を希望される方は、下記の要領にしたがってお申し込みください。

- 1) 日 程 : 2017 年 8 月 26 日 (土)
- 2) 場 所 : 淑明女子大学 (ソウル駅隣接) <http://e.sookmyung.ac.kr/>
- 3) テー マ : ジャーナリズムの危機と役割、価値
- 4) 趣 旨

21 世紀に入りデジタル社会の進展とともに、韓国、日本に限らず世界各国でジャーナリズムの危機が叫ばれている。言論への政治的介入が強まる一方、フェイク・ニュース、ポスト・トゥルースといった社会現象の表出はさらにジャーナリズム、マス・メディアの信頼性を喪失する危険性をはらみ、既存のジャーナリズム、マス・メディアへの信頼の揺らぎと表裏の関係あるとも言える。こうした状況に対峙する方策として、いま一度ジャーナリズムの倫理、哲学、ジャーナリストの価値観、ジャーナリスト教育、ジャーナリズム教育を深層からとらえなおし、その本質を探るとともに、現在の危機的状況を克服できるような討論の場としたい。

【共同研究セッション】

- (1) 北朝鮮はどのように“公共の敵”となったか？
- (2) 別途公募する共同研究

【第 I セッション】【第 II セッション】 研究発表報告・討論

ジャーナリズムの危機と役割 (どのように乗り越えるか) への対応。具体的にはジャーナリズム (ジャーナリスト) の倫理、哲学、教育、価値観などを視野に報告していただきます。

【第 III セッション】 総合討論

2 セッションの報告者、討論者に数名の登壇者を加えて、討論を行う。全体を通して、現代社会におけるジャーナリズムの役割と責任を考えることは、日韓相互理解を促す上で有益な試みとなる。

5) 報告者 2 名の募集

第 I、第 II セッションの報告を希望される方は、報告タイトルと要旨 400 字程度を国際担当理事・黄盛彬まで電子メールでお送りください。

Email: seongbin@rikkyo.ac.jp 締切日 5 月 27 日 (土)

なお、報告を申し込まれる方は、申込締め切り日までに 2017 年度分までの会費納入済みであること。また、採否については 6 月中旬までにご連絡します。

報告者に内定した方には 7 月 22 日(土)までに報告原稿 (日本語、A4 用紙=40 字 x40 行 =8 枚程度、英文サマリー A4 用紙 1 枚) を提出していただきます。

(2017 年度日韓国際シンポジウム実行委員会)